

大変遅ればせながら、おけましておめでとうございます。12月号での宣言とは裏腹に、結局慌ただしく過ぎ去った師走のしわ寄せが睦月の終わりにまで及んでおります。今年は、年末年始恒例の慌ただしさを回避しようと誓った2020年の始まり。本年もどうぞよろしくお願い致します。

満福通信  
まんぶくつうしん

2020年の抱負

令和2年、明けましておめでとうございます。2020年の星回りは、庚子七赤金星です。庚が陽の金、子年は蓄財・子孫繁栄、七赤金星は金運を意味し、これらが重なるのは縁起が良いということで、今年は180年に一度の金運の年などと言われています。庚子とは六十千支(十千と十二支を組み合わせたもの)の一つです。60歳が還暦と言われるのは六十千支が一巡することか

らです。庚子を見ていく時、60年ごとに出来事を辿って行きます。紙面の都合上細かく見ることは出来ませんが、1960年、1900年、1840年と年号を並べただけでも、一筋縄ではいかない困難や大変化があった時代だとなんとなくわかります。つまりは、金運が良いと浮かれてばかりはいられない、ということです。私個人はと言いますと、本厄を迎えた三碧木星です。前厄の2019年は

文字通り試練の年であり、あり方を根本的に見直し、軌道修正を余儀なくされた一年でありました。本厄である今年もそれは現在進行形であり、新年だから今年は大飛躍!とはとても思えず、謙虚に慎重に、粛々とやるべきことをやり、いい意味で現状維持する(今の努力を絶やすことなくやり続ける)ことでじっくりと英気を養い次の変化に備える一年にしたい、そう思っています。(太)

「WEB秋信」にて動画公開

『月刊秋信』(2020年2月号)に特集記事が掲載されたことは前回お伝えしましたが、その記事に関連した動画が秋信のWEBサイトに幾つか公開されること。まず一つ目の動画が「WEB秋信」に公開されましたのでご紹介いたします。以下、サイト紹介文です。  
“月刊秋信2月号特集記事にて、腰反り、中反り、先反り、直刀と、様々な姿形の日本刀を用いて、サムライの真剣刀法とその変遷についてご指南いただいた斬法総合研究所・後藤健太所長。本動画では後藤師による刀を巻藁につけた状態から、振りかぶらずに斬る驚異の斬法「寸勁零式」を紹介!”

動画URL

[http://webhidden.jp/gallery/movie/post\\_278.php](http://webhidden.jp/gallery/movie/post_278.php)  
元の動画は月刊秋信のYou Tubeチャンネル「BUDO JAPAN CHANNEL」に公開されています。

“【振りかぶらずに斬る!】衝撃の寸勁刀法! 後藤健太師範 "O" inch SLASH TAMESHI-GIRI !!”

動画URL

<https://www.youtube.com/watch?v=Ej7zay9E93M>  
ご興味ございましたら是非御覧ください。(太)

ようこそ太仁亭へ!

昨年友人が送ってくれた野菜の中に、鶴首かぼちゃという日本在来のかぼちゃがありました。そのタネが、私達が育てたバターナッツかぼちゃのタネと瓜二つで驚き、バターナッツが日本の品種と同じであることを再認識しました。日本かぼちゃのタネは、スーパーでよく売られている西洋種よりも小さいです。タネで品種の違いがこんなにもよく分かることに感動しました。他にも輪切りにすると菊の花のような形になる菊座かぼちゃの仲間もあり、どうやらこ

れが父が昔食べていたという「土手かぼちゃ」のようだという事もわかったりして、「日本かぼちゃ」というものを色々知ることのできる機会となりました。もちろんこの菊座かぼちゃもバターナッツのタネとよく似ています。

品種としては日本かぼちゃと同じとは言え、バターナッツは日本の在来種ではありません。ハロウィンの時期に飾っておくと絵になる形に楽しいのですが、今年の夏は鶴首かぼちゃを育ててみたくなりました。(仁)

日本刀から生まれた言葉達-10「左側通行」

日本の車道は左側通行ですが、なぜそうなったかご存知でしょうか。時は江戸時代、武士が腰に帯刀した刀の鞘がぶつかることを「鞘当て」と言いました。武士の魂である刀にものをぶつけることは無礼極まりないということで、鞘当てが起きると切合いにまで発展しかねませんでした。また、鞘当てには決闘を申し込む意味があったとも言います。武士は左利きであっても左腰に帯刀することが義務付けられ

ており、無用な争いを避けるために左側通行になったのだとか。余談ですが、江戸時代には左利きは右利きに矯正されていたそうです。ですが、実際に剣術をやってみますと両利きであることが重要だと気づきます。宮本武蔵は左利きの剣豪として有名ですが、二刀流としても有名です。その心は片手で刀を扱えたほうが有利ということで、左右どちらでも刀が扱えるように修練したといえます。(太)

今月のお豆ちゃん

私の希望で岡谷蚕糸博物館へ行って来ました。お豆ちゃんは初めての長野です。博物館では、その朝生まれたばかりのお蚕様が公開されていました。生まれたばかりのお蚕様は、黒くて毛が生えていて毛蚕と呼ばれるそうです。この黒い期間はたった3日。大変貴重なものを見ることができました。その後、繭を使った工作でウサギのお人形を作り、この日一番の楽しい時間を過ごしました。(仁)



草木染の師

長野県の岡谷蚕糸博物館で草木工房(神奈川県川崎市)の「草木染山崎家三代の軌跡」という企画展が開催されています。天然染料の復興に尽力し、その染色を「草木染」と命名した一代目の斌氏、草木染の研究を深め多くの技術書を世に送り出した二代目の青樹氏、そして私が現在師事している3代目の和樹氏。学生時代から青樹氏の本で草木染を学んで来た私にとって和樹氏の下で学べる事は大きな喜びです。年明け早々に博物館へ足を運び、思いを新たにした新年最初の遠出でした。(仁)

編集者: 後藤仁子

kuniko-goto@ccore.co.jp

発行日: 2020.1.20 大寒 (だいかん)

款冬華(ふきのはなさく)

発行所: 株式会社コンセプト・コア

☎192-0373

八王子市上柚木 2-63-10

TEL/FAX 042-697-7473

<https://ccore.co.jp/>

過去号: ウェブサイト↑からご覧頂けます。